

参加費

一般 1,000円

25歳以下 500円

各回 40名 (先着順)

穂の国とよはし芸術劇場PLATが贈る

「旅する舞台映像シリーズ ～つくり手と観客を結ぶ上映会&トーク～」は、
つくり手とのトークや観客同士の対話と、演劇作品の映像上映を組み合わせ、
舞台芸術をより深く味わい、自分自身の中に新たな気づきを育む
“もうひとつの舞台体験”をお届けするシリーズです。

旅する舞台映像シリーズ

しゅ こう
vol. 1 趣向

『パンとバラで退屈を飾って、
わたしが明日も生きることを耐える。』

トークゲスト オノマリコ (劇作家)

9/14 日 13:00 ~ 16:00
創造活動室 A



こ ま つ だ い ひ が し
vol. 2 小松台東

『ソファー』(日本語字幕付き)

トークゲスト 松本哲也 (劇作家・演出家)
佐藤こうじ (舞台音響家)

10/18 土 14:00 ~ 17:00
創造活動室 A



vol. 3 劇団アンパサンド

『歩かなくても棒に当たる』

トークゲスト 安藤奎 (劇作家・演出家・俳優)

11/24 月祝 14:00 ~ 17:00
創造活動室 B



穂の国とよはし芸術劇場 PLAT
TOYOHASHI ARTS THEATRE

<https://www.toyohashi-at.jp>

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

TEL 0532-39-8810 (9:00~20:00 休館日除く) FAX 0532-55-8192

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団 共催：豊橋市

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業))

独立行政法人日本芸術文化振興会



旅する舞台映像シリーズ

つくり手と観客を結ぶ上映会&トーク

演劇を“観る”ことから“語り合う”ことへ。新たな出会いが、きっと生まれる。

9/14 日 vol.1 趣向

2010 年、オノマリコの一人ユニットとして発足。この世界にある小さな声を、言葉や歌にして、共振するように演劇を作る。2021 年・2022 年、音楽劇『パンとバラで退屈を飾って、わたしが明日も生きることを耐える。』の創作により、演劇団体として定期的な活動を継続することを決意。2023 年、俳優の大川翔子、前原麻希が加入し劇団化。



撮影：佐藤茉優花

【トークゲスト】オノマリコ（劇作家）

劇作家。神奈川県出身。趣向 代表。東京女子大学卒。演劇とは無縁の学生生活を過ごしたのち、出版社に入社し退社。その後、ぼつりぼつりと戯曲を書き始める。2015 年、シアターラム ネクスト・ジェネレーション vol.7 にて『解体されゆくアントニンレーモンド建築旧体育館の話』を上演し、注目される。瑞々しく色彩豊かなセリフ、言葉で時空間を飛び越えようとする作風を特徴とする。2024 年、新しい結婚制度について描いた趣向『べつのほしにいくまえに』が、「CoRich 舞台芸術まつり! 2024 春」にて、グランプリを受賞。



[申込開始]
8/2 (土) 10:00

10/18 土 vol.2 小松台東

松本哲也による演劇ユニットとして、2010 年第一回公演『ノンアルコールで吐く』より劇団活動を開始。2013 年より劇団名を小松台東に変更。全作品宮崎弁で上演されていることが特徴で、日常の中で起こる人間の機微を丁寧に、ユーモアを交えて描いている。



【トークゲスト】松本哲也（劇作家・演出家）

劇団「小松台東」主宰。劇作家・演出家・俳優として活動。劇団公演以外にも外部への書き下ろし、演出・出演も多数。これまでの主な出演にドラマ『新空港占拠』『相棒 season22』『アナウンサーたちの戦争』、大河ドラマ『鎌倉殿の 13 人』など。また、ドラマの脚本『東京センチメンタル』『竹内涼真の撮休』『サヨナラ、えなりくん』なども手がける。



【トークゲスト】佐藤こうじ（舞台音響家）

株式会社シュガーサウンド代表取締役 / 小松台東劇団員 / 日本舞台音響家協会会員。小松台東では、音響以外に、音楽、CP（クリエイティブパートナー）として松本演出を支えている。近年の主なプランニング、TBS テレビ『WAR BRIDE』（演出 日澤雄介）、渡辺直美コントライブ（演出 オークラ）、ゴツプロ!『流浪樹』（演出 泉知東）、小松台東『ソファール』（演出 松本哲也）



[申込開始]
9/6 (土) 10:00

11/24 月祝 vol.3 劇団アンパサンド

2016 年、安藤奎（劇作家・演出家・俳優）が旗揚げした演劇団体。2021 年、深見由真（俳優）、菅原雪（俳優）が加入。茶の間やオフィスから始まる日常が、少しずつズレていき、いつの間にかとんでもない世界になってしまうという作風を特徴とし、現代社会をスケッチする技巧と展開が予想できない独自の物語性が魅力。



【トークゲスト】安藤奎（劇作家・演出家・俳優）

大分県出身。2016 年、劇団アンパサンドを結成。主宰として作・演出・出演を行う。2024 年『地上の骨』が第 68 回岸田國士戯曲賞最終候補に選出され、2025 年『歩かなくても棒に当たる』で第 69 回同賞を受賞。また、ドラマ『女子高生の無駄づかい』（テレビ朝日）脚本、GAG コント企画『× 魅力人』演出、南海キャンディーズ LIVE 内舞台『人吸い』作・演出、文藝春秋『CREA』でのエッセイ執筆など、活動の幅を広げている。



[申込開始]
10/4 (土) 10:00

対象 どなたでも(未就学児入場不可)

参加費 一般 1,000 円 25 歳以下 500 円

定員 各回 40 名(先着順)

締切 定員に達し次第締切 ※定員に満たない場合は当日参加も可

申込方法 ☐ オンライン 上記 QR コードのページより、必要事項を記入して送信

☐ 電話・窓口 プラットチケットセンター ☎0532-39-3090 (休館日を除く 10:00 ~ 19:00)

問合せ プラットチケットセンター ☎0532-39-3090 (休館日を除く 10:00 ~ 19:00)